

災害法

大橋洋一 編, 原田大樹 = 田代滉貴 = 土井 翼 = 野田 崇 = 大脇成昭 = 松戸 浩 = 飯島淳子 著

担当編集から

「現代の法律学を対象に現時点で法律学全集を編集するならば、災害法は確実にその一角を占めるものである。」——本書「はじめに」冒頭の一文です。

本書は、「災害法」を「環境法」などのようにひとつの法分野として認識し、その法システムを解明しようとするものです。災害をめぐる法律は、もともと体系的な整備が図られていたわけではなく、大規模災害が起きる度にその災害に対応する個別法の制定・改正をくりかえしてきた結果、多数の法律が並存しています。複雑な様相を呈する災害法の全体を概観し体系的に叙述することをねらって、(1)災害類型に即した法制研究、(2)都市法と災害法の交錯に関する研究、(3)避難法制研究、(4)災害組織法研究を基盤に構成された8つのテーマに、気鋭の研究者が取り組みました。

新しい法分野を切り拓く本書を、法学部生や法科大学院生のみなさんもぜひ手に取ってみてください。(Z)

Point

詳細な分析・深い考察から、災害法全体の概観をこころみます。

【目次(抄)】

序論 災害法の特質と法体系

- 1 個別の災害類型に即した考察
- 2 情報コミュニケーションとしての災害行政過程
- 3 災害組織法の研究
- 4 災害法の理論的課題

I 原子力発電と法

II 土砂災害と法

III 豪雨災害と法

IV 大規模地震と法

V 都市整備と法

VI 避難・救助と法

VII 防災組織と法

VIII 地方公共団体と法

災害法

大橋洋一 編

原田大樹・田代滉貴・土井 翼・野田 崇・大脇成昭・松戸 浩・飯島淳子 著

災害をめぐる
法システムを
解明する

気鋭の
研究者が
結集!

有変開

レベル	用途	対象
上級	研究 実務	研究 法曹 法務

2022年11月発売/398頁/6160円(税込)
A5判/上製



BOOK INFORMATION

詳細は、小社ウェブサイトの本書のページをご覧ください。

